

やまびこだより

社会福祉法人岡山こども協会 とよた保育園

赤磐市松本 549 TEL 995-0244

令和6年7月1日発行

312号



こどもの声を聞く

私はこどもたち一人ひとりと丁寧に関わることを大切に保育をしています。昨年度の自分の保育を思い返してみると、日々反省することもありました。そんなときに受けた研修での話が印象に残っています。

それは『保育の中のこどもの声を聞く』ということです。こどもには自由に思いを語る権利、聴きとられる権利、正當に重視される権利があります。また、こどもたちは相手に自分の声を聴きとられることで、自分の心を育てていくそうです。

例えば、友だちを押ししてしまった子に対して、保育者が「押さないよ」と声を掛け、こどもを説得しようとするのではなく、まずはその子の思いを知ろうとすることが、『保育の中のこどもの声を聞く』ということにつながると学びました。

私が担任するはなゆき組のこどもたちは、まだ自分の思いを言葉で伝えることが難しい年齢です。声といってもことばだけでなく、身ぶり手振りでこどもの思いを受け止めることができます。改めて、自分が保育の中で大切にしたいことを思い出して、こどもたちと関わっていきたいです。

吉畠 結衣

参加保育



参加保育とは、その名の通りお家の方に保育に参加してもらう日です。こどもたちと一緒に遊んだり、着替えや食事のお手伝いをしてもらったりしています。こどもたちも「Aさんのお母さん」「Bちゃんのお父さん」と、とても喜んでいきます。お子さんの誕生月にお誘いしますので、ぜひご参加ください。 渡部 加奈



お知らせ



じゃがいも収穫

共同農園で育てていたじゃがいもが収穫の時期を迎えたので、じゃがいも掘りに挑戦することもたち。「見て、こんなに大きいのが採れた」と目を輝かせ、地域の方と一緒にたくさん収穫することができました。



とよた保育園公式ホームページのQRコードとURL

<https://toyota.okayamakodomokyoukai.jp/>

とよたの台所



出汁ってなあに？

たんぽぽグループで出汁についての取り組みをしました。昆布、煮干し、鰹節、椎茸の乾燥したものを触ったり、実際に出汁の試飲をしたりしました。引き味だけで何の出汁なのかこどもたちが気付き、おいしさを味わえるようになってほしいです。

岡本 未来



れっつとらい

豊かな環境

こぐま山のトンネルの上にCさんが葉っぱを数枚並べていました。Cさんが「ドーナツ屋さんですよ」と言ったのを合図に、周りにいた子も一緒にドーナツやさんごっこがスタート。保育者も一緒に「これください」「何味ですか？」など、やりとりを楽しみました。身近にある自然物で、こどもたちが自分で考えて遊び始める姿がとても素敵だなと思います。そして、葉っぱや枝、どんぐり、木の実が落ちている保育園の環境も、こどもたちの心を育む大切な場所だなと改めて感じました。

山崎 祐美子

follow
us!

toyotagram

水あそび・どろんこ

夏のあそびといえば水あそび、どろんこ、プールです。こどもたちに「今日はどろんこするよ」と伝えると「やったあ!」と嬉しそうにどろんこ服に着替えています。あそびの中で水や泥の感触、友だちとの関わりを楽しんでいます。



たんぼぼグループ



#どろんこ田んぼ #どろんこみれ

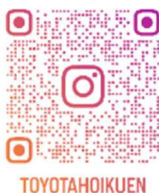
思いきり

地域の方のご厚意で、今年もどろんこ田んぼを行いました。毎年楽しみにしているこどもたち。田んぼにつくと「もういい?」「早く入りたい!」という声が聞こえてきました。田んぼの中で走り回ったり泥の付け合いをしたりと全身で泥の感触を味わいました。

岡本 未来

follow
us!

toyotagram



とよた保育園の公式Instagramです。
日々のこともたちの園での様子やお知らせを
投稿していますので、フォローよろしくお願
いします。



はなゆき組



#とうもろこし #お手伝い
むきむき

給食室の手伝いでとうもろこしの皮むきをしました。とうもろこし丸々一本は普段なかなか見ることがないためか、初めはじーっと見ているこどもたち。保育者が手を添えて一緒にむくと、徐々に見たことのある黄色い粒が出てきました。むいたとうもろこしをマイクのように持ったり、おいしそうに見えたようで食べようとする姿がありました。実際に触れる経験をたくさんしたいです。

吉富 結衣